

研究の可能性を、 AIで解き放つ

AI for Scienceの波及・振興を促進し、
研究者等による新たなアイデアへの挑戦を
強力に支援します



AI for Science による科学研究革新プログラム
AI for Science 萌芽的挑戦研究創出事業

研究課題募集

年間
約**1,000**
課題採択

AI利活用の
初心者
歓迎

AI利活用開始
の伴走支援・
コミュニティ
形成支援あり

AIの急速な進展と社会への浸透を背景に、AIを科学研究に組み込む「AI for Science」は、研究の創造性及び効率性を大きく向上させ、研究の在り方そのものに急速かつ抜本的な変革をもたらしつつあります。

このようななか、米国・欧州をはじめ各国がAI for Scienceを国家戦略として推進する動きが加速しており、我が国においても、あらゆる分野へAI for Scienceを波及・浸透させるための取組を、スピード感と危機感を持って推進することは、我が国の科学研究力の強化に向けた喫緊の課題です。

このため本事業は、我が国のあらゆる分野の研究者等がAIを利活用して科学研究の高度化・加速化を図ることができるよう、萌芽的・探索的な研究を機動的に支援することにより、AI for Scienceの波及・振興を促進し、我が国独自の競争優位につながる新たな研究の種や芽を創出することを目指します。

公募期間

第1回：令和8年4月17日(金)～5月18日(月) 正午
第2回：令和8年6月2日(火)～7月3日(金) 正午

補助上限

1課題あたり500万円以下(直接経費。別途、間接経費30%を配分予定。)
※2回の公募を通じて計1,000件程度採択予定。

対象経費例

計算資源に係る経費、データ取得・利用料、API利用料、ロボットアーム等の
設備費、データ整理・確認作業に係る謝金等
※人件費は対象となりません。詳細は、公募要領をご参照ください。

研究期間

第1回：交付決定日から令和9年1月6日(水)まで
第2回：交付決定日から令和9年2月5日(金)まで

対象

人文学、社会科学から自然科学までのあらゆる分野の研究者等を対象とし、
大学の学部生・院生、高専生等の学生や、民間の研究者等も応募可能

応募が想定される研究計画の例

データ整備やモデル構築といった開発プロセスから、実験自動化、データ解析などの活用まで、幅広い取組を含みます。

具体例

生命科学

既存分子AIモデルに対する追加学習により、特定標的向け薬剤候補の予測精度を向上

材料科学

AIシミュレーションによる仮想材料の性能評価

物理学

過去の実験ログをAIに学習させ、記録フォーマットの統一/デジタル化、記録自動化

人文学

史料・写本をデジタル化し、AI学習に向けた注釈付きデータを整備

上記に限らず、皆様からの柔軟かつ独創的な発想に基づく提案を期待します。

応募資格

応募時点において、所属する機関等により、次のア及びイの要件を満たす研究者等であると認められ、かつ、研究インテグリティの確保に係る誓約状況をはじめとしてe-Radに必要な研究者情報が登録されている者であること。

要件

ア.日本国内に所在する機関等に所属する者（有給・無給、常勤・非常勤、フルタイム・パートタイムの別を問わず、機関等に在籍する学生を含む。）であること。

イ.当該機関の研究活動に実際に従事していること。
（研究の補助のみに従事している場合は除く。）

事業全体の流れ



公募



審査

交付申請・
交付決定

研究実施

成果報告・
額の確認

本事業の審査では、無作為抽出やAIの補助的活用など、機動的かつ挑戦的な仕組みを取り入れた審査手法を導入します。
また、申請者支援として、応募前に形式要件の不備等を確認できるチェックツールを提供します。

※こうした手法の導入を通じて、研究評価及び資金配分手法の改善に資する知見を獲得し、今後の研究評価システム等の検討にも活用する予定です。

お問い合わせ先

お問い合わせは、公式サイトのお問い合わせフォームよりお願いいたします。

公式サイト

https://www.mext.go.jp/aifors_spread/